


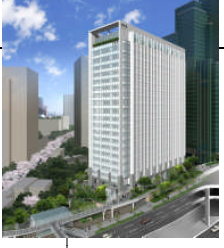
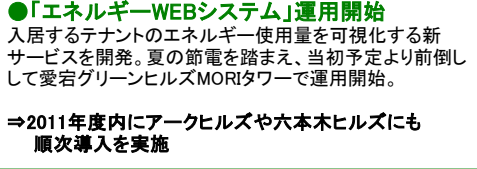





<凡例> ・オレンジ字=プロジェクト関連 ・緑字=東日本大震災関連 ・青字=受賞、認定関連

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
世の中		春節	●3/11 東日本大震災	●東京都知事選挙 ●「都市再生特別措置法」一部改正			
森ビル		●「 アークヒルズ フロントタワー 」竣工 	●3/8 社長交代発表 	●入社式 ●「 環状二号线Ⅲ街区プロジェクト 」着工 ●「 (仮)21・25森ビル建替計画 」着工 ●「 六本木ヒルズ クロスポイント 」竣工 	●2011年3月期決算 	●新役員体制開始 	
事業/プロジェクト		●六本木エリアに現代美術ギャラリー5店舗オープン 	●六本木ヒルズ発電設備の余剰電力を東京電力に提供<3/18~4/30> ●東北地方太平洋沖地震 被災地支援義援金 5000万円		●「 エネルギーWEBシステム 」運用開始 入居するテナントのエネルギー使用量を可視化する新サービスを開発。夏の節電を踏まえ、当初予定より前倒しして愛宕グリーンヒルズMORIタワーで運用開始。 ⇒2011年度内にアークヒルズや六本木ヒルズにも順次導入を実施	●都市景観大賞「都市空間部門」特別賞受賞(アークヒルズ) ●東日本大震災後のオフィスニーズとBCPに関する意識調査 発表 ●環境性能が評価「優良特定地球温暖化対策事業所」に5棟が認定 ●「第二回中日新聞広告大賞」最優秀賞受賞(企業広告)	
イベント	●展望台初日の出(六本木ヒルズ) ●餅つき(六本木ヒルズ) 				●春のヒルズ街育プロジェクト・みどりのヒミツ探検ツアー ●田植え(六本木ヒルズ)	●6/2~5 日本ゴルフツアー選手権(六本木ヒルズ)	
展覧会	森美術館『小谷元彦展』<2010/11/27~2/27> 森アーツセンターギャラリー スカイプラネタリウム 一千光年の宇宙を旅する <11/26~11/2/13>	森美術館『フレンチ・ウィンドウ展』<3/26~8/28> 森アーツセンターギャラリー「スカイプラネタリウム II ~星に、願いを~」<4/22~6/26>	森美術館『戦場カメラマン/渡部陽一 & 紙の魔術師/太田隆司展』<3/12~4/3>	森美術館『フレンチ・ウィンドウ展』<3/26~8/28> 森アーツセンターギャラリー「スカイプラネタリウム II ~星に、願いを~」<4/22~6/26>			
世の中		夏の電気使用制限 2011年7月1日 - 9月22日 ●「都市再生特別措置法」施工	●野田内閣組閣	●東京都「木密地域不燃化10年プロジェクト」発表 ●東京都「アジアヘッドクォーター特区」を申請 ●国慶節	●東京都「都防災対策指針」発表	●東京都「国際戦略総合特区に指定：「アジアのヘッドクォーター特区」構想	
森ビル	●「 六本木ヒルズ クロスポイント 」グランドオープン ●六本木ヒルズ発電設備の余剰電力を東京電力に提供<7/1~9/22> ●虎ノ門・六本木地区再開発(2012年竣工)の非常用発電システムに、都市ガスによる自家発電導入決定 ●お台場・ヴィーナスフォート「空の照明」をLED化 ●Wi-Fi(公衆無線LAN)サービス「Wi2 300」ヴィーナスフォートで提供開始 ●「六本木ヒルズエネルギーセンター」発電・熱供給施設として唯一「優良特定地球温暖化対策事業所」に認定 ●ライトダウンキャンペーン	●韓国・ソウルの大規模コンサル事業「D-Cube City」商業施設オープン ●森ビル総合震災初動訓練(初動訓練徹底)	●日本新聞協会「第31回新聞広告賞」受賞(企業広告) ●表参道ヒルズ「キッズの森」2周年	●業界初！震災時のヘリコプターシェア利用『震災対策フライトプラン』を受付開始 ●ホワイトスペース特区活用 エリア限定放送を六本木ヒルズで実証実験 ●「壁面・特殊緑化部門 都市緑化機構会長賞」受賞(六本木ヒルズ) ●都心のゴルフ練習場「ヒルズゴルフアカデミー虎ノ門」オープン1周年	●2012年3月期中間決算発表 ●緑の都市賞「緑の地域づくり部門 奨励賞」受賞(愛宕グリーンヒルズ) ●六本木ヒルズ周辺に古美術ギャラリー2店舗オープン	●上海 陸家嘴地区環境整備プロジェクト合同着工  ●「虎ノ門・六本木地区 第一種市街地再開発事業」上 ●「新橋・虎ノ門・六本木地域の都市再開発」社団法人都市住宅学会賞業績賞 受賞 ●4つのヒルズを「バードピア」に東京都内の民間施設として初登録(六本木ヒルズ、アークヒルズ、愛宕グリーンヒルズ、元麻布ヒルズ)	
イベント	お台場の3施設が合同バーゲン初開催！「オダイバーゲン」お台場を代表する商業施設「ヴィーナスフォート」、「アクアシティお台場」、「デックス東京ビーチ」が、震災後のお台場エリアを明るく、元気に盛り上げるべく、初めて合同でバーゲンを実施	夏 のヒルズ街育プロジェクト ・省エネオフィスの「ヒミツ」探検ツアー new! ・安全・安心の「ヒミツ」探検ツアー ・水の「ヒミツ」探検ツアー ・アートの「ヒミツ」探検ツアー ・建物の安全の「ヒミツ」探検ツアー new!	●盆踊り(六本木ヒルズ) ●太極拳(六本木ヒルズ) ●稲刈り(六本木ヒルズ) ●地上100mのぶどう収穫(赤坂溜池タワー)	★ アークヒルズ25周年 サントリーホールと共催で「音楽週間」 ●秋 のヒルズ街育プロジェクト ・みどりのヒミツ探検ツアー ・みどりと音楽の街「アークヒルズ」探検ツアー ●年内参加者1000名突破	●各施設のイルミネーション点灯		
展覧会	森美術館『フレンチ・ウィンドウ展』<3/26~8/28> 展望台 東京シティビュー『スカイアクアリウム2011』<7/15~9/25>	森美術館『メタボリズムの未来都市展』<9/17~2012/1/15> 森アーツセンターギャラリー『ドラゴンクエスト展』<10/8~12/4>	森美術館『フレンチ・ウィンドウ展』<3/26~8/28> 森アーツセンターギャラリー『歌川国芳展』<12/17~2012/2/12>				

<別紙資料>

- ①森ビルの安全・安心の取り組み
- ②赤坂・六本木・虎ノ門エリアでのプロジェクト展開
- ③ヒルズの原点「アークヒルズ」25周年
- ④森ビルグループのアジア事業展開
- ⑤『ヒルズ街育プロジェクト』

① 森ビルの安全・安心の取り組み



震災時および直後の対応

<ハード面>

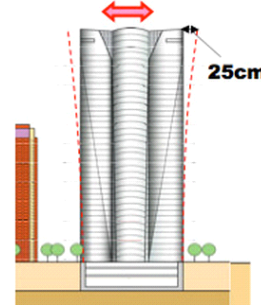
優れた耐震性

●全管理物件において、大きな物的被害はなく、超高層ビルの安全性を実証。



セミアクティブ型オイルダンパー（六本木ヒルズ森タワー内356箇所設置）

●六本木ヒルズ森タワー頂部の揺れは片側25cm。最大で約30%の制振効果があり、51階レストランでも、食器、花瓶などの被害はなし。



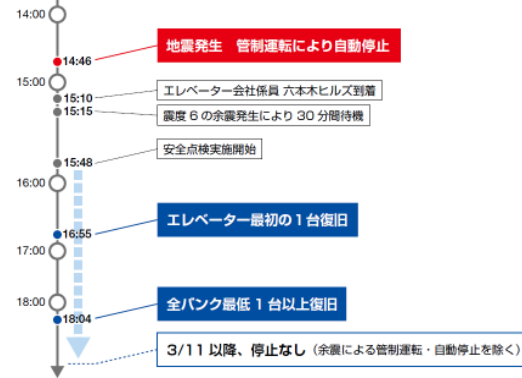
安定した電力供給

●六本木ヒルズでは、常時、都市ガスで自家発電しているため、電力不足の影響も受けず、余剰電力を電力会社に融通。（3～4月：3,000～4,000Kw、7～9月：4,000～5,000Kw）



エレベーターの早期復旧

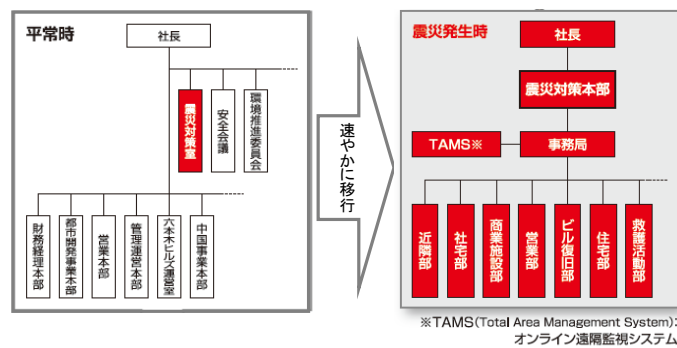
●六本木ヒルズ森タワーのエレベーターは、安全停止後に早期復旧



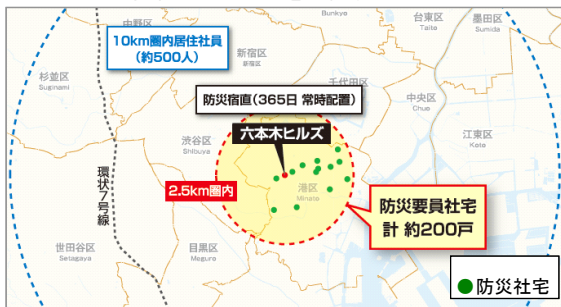
<ソフト面>

防災組織体制

●地震発生（14:46）後、直ちに（15:08）に全社員が震災対策組織体制に移行。



●近隣2.5km圏内の防災社宅（約200戸）に居住する防災要因等を中心に行っている日頃の訓練により、スムーズに入居テナント、居住者などを誘導。重大な人的被害がないことを確認。



震災備蓄

●森ビル全体で約20万食、六本木ヒルズで10万食を備蓄。今回の震災では、帰宅困難者対応として約1500人分の飲料水、非常食、毛布などを配布。



六本木ヒルズ震災備蓄倉庫



震災当日の備蓄品配布（アークヒルズ）

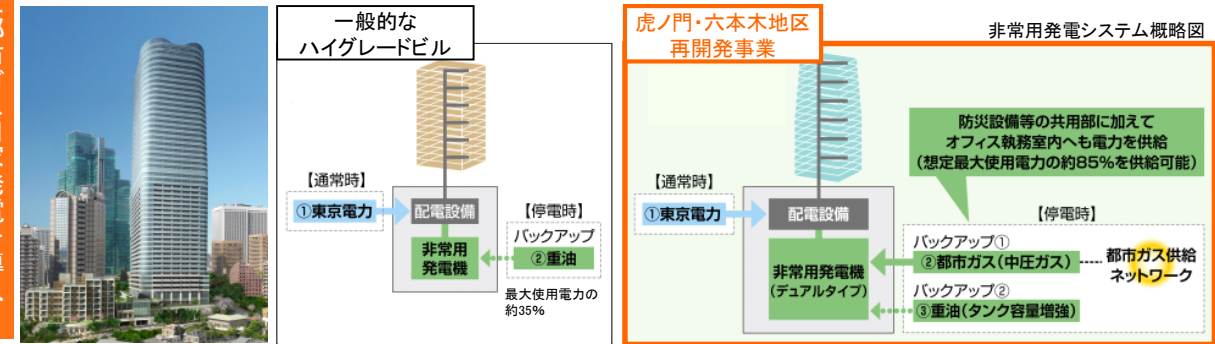
震災を踏まえた新たな取り組み

非常用自家発電システムに都市ガス自家発電を導入

東日本大震災後のオフィスニーズとBCPIに関する意識調査を実施（4～5月）

- 震災前は35%だったBCP策定割合が、震災に伴い8割に倍増する見込み
- BCPの内容は「社員の帰宅困難者対応」、「通信の確保」、「入居ビル選定基準」が増加
- 「新規賃借理由」は「耐震性能（15%→45%）」が急増し、「賃料」を抜いてトップに
- 入居ビル選定基準の内容は「非常用発電機の有無」、「地理特性」が急増し約5割に

都市機能の維持と入居企業の事業継続性を高めるため、建築中の虎ノ門・六本木地区再開発において、停電時に都市ガス（中圧ガス）による自家発電で電力を供給し、入居企業の通常業務を継続可能とする非常用発電システムの導入を決定。（2011年7月）



震災初動訓練の徹底

●「逃げ込める街づくり」の強化に向け、震災の教訓を踏まえ、施設の安全確保を前提に、入居テナント、居住者の事業、生活維持を目的とした震災初動訓練を実施。（2011年8月）



震災時の移動手段にヘリ活用

●震災時の事業継続に向けたヘリコプター活用ソリューションMCASで「震災対策フライトプラン」受付開始。（2011年10月）



震災時に都心で唯一民間旅客利用が可能なアークヒルズのヘリポートを活用し、迅速な人員や物資の移動により、被害を最小限に抑え、震災後の円滑な事業継続に貢献する。

ホワイトスペースの活用

●エリア限定放送の活用による帰宅困難者等への情報提供システム検討



地上デジタル放送化に伴い空白が生じた周波数帯を活用できる「ホワイトスペース特区」の第二次業者に選定されたことを受け、六本木ヒルズにてエリア限定放送の実証実験を開始。（2011年10月）
 2012年3月に実施する六本木ヒルズの震災訓練において、帰宅困難者や被災者に対する情報提供システムとして実証実験を実施予定。

② 赤坂・六本木・虎ノ門・新橋エリアでのプロジェクト展開

2012年竣工予定の「虎ノ門・六本木地区市街地再開発計画」や2013年竣工予定の「21・25森ビル建替計画：(仮称)アーキヒルズサウスタワー」、さらには、虎ノ門から新橋を結ぶ「環状2号線Ⅲ街区プロジェクト」など、エリアが進化する新しい再開発が進行中です。東京都が推進する「アジアヘッドクォーター特区構想」の指定申請エリアに含まれているこのエリアで、森ビルは、これまで培ってきた街づくりのノウハウを生かし、エリア全体の価値を高め、グローバル企業の拠点にふさわしい街づくりを進め、東京の国際競争力向上に貢献していきます。



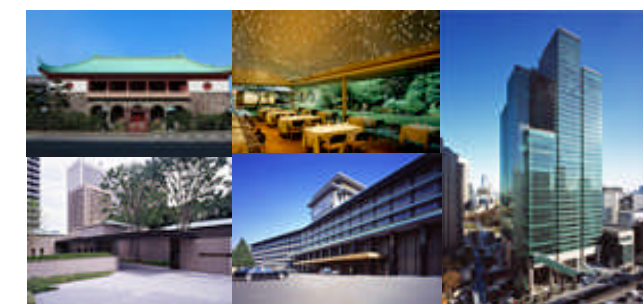
タウンマネジメントからエリアマネジメントへ

今後、単体の施設だけではなく、周辺の施設や、地域の連携を深めていくことで、タウンマネジメントからエリアマネジメントに発展させ、エリアの魅力を高めていきます。



エリアとの連携

10月にアーキヒルズで行った「アーキヒルズ音楽週間」では、泉屋博古館分館、菊池寛実記念 智美術館、ホテルオークラ東京、大倉集古館、泉ガーデンといった周辺施設と連携し、エリア全体で音楽の街を演出しました。



アーキヒルズ フロントタワー



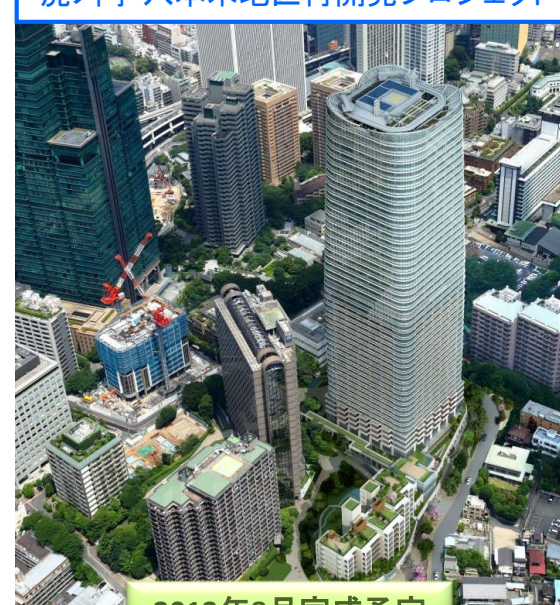
2011年2月竣工

六本木ヒルズ クロスポイント



2011年3月竣工

虎ノ門・六本木地区再開発プロジェクト



2012年8月完成予定

21・25森ビル建替計画:
(仮称)アーキヒルズサウスタワー



2013年完成予定

環状2号線プロジェクト



2014年完成予定

③ ヒルズの原点「アーキヒルズ」25周年



【アーキヒルズ 概要】

所在地：東京都港区赤坂1-11、12他
 敷地面積：41,187m²
 用途：事務所、住宅、ホテル、店舗、コンサートホール、スタジオ、集会所
 着工：1983年11月 竣工：1986年3月
 ○アーキ森ビル(オフィス、商業など)
 延床面積：181,833m² 階数：地上37階 / 地下6階
 ○アーキタワーズ(住宅)
 延床面積：54,881m² 階数：地上25階 / 地下1階
 ○サントリーホール
 延床面積：12,149m² 階数：地上4階 / 地下2階
 ARKとは、赤坂(Akasaka)と六本木(Roppongi)の結節点(Knot)の頭文字を合わせたものです。

1986年	アーキヒルズ竣工
1987年	
1988年	アーキ森ビル内地下四階に「アーキ都市塾(現 アカデミーヒルズ)」開塾
1989年	
1990年	
1991年	
1992年	
1993年	アーキ都市塾にて、都市模型の原型制作開始
1994年	
1995年	
1996年	アーキ森ビル36階に教育・研究拠点「アカデミーヒルズ」開設
1997年	アーキガーデン(ルーフガーデン、メインガーデン)完成 ガーデニングクラブ活動開始 カラヤン生誕90周年記念 故国オーストラリア以外では世界初の「カラヤン広場」誕生
1998年	森ビル運営「アーキヒルズクラブ」オープン 「アーキヒルズ」の飲食店舗が大幅入れ替え 飲食店舗席数は従来の25%増の約3000席に
1999年	アーキヒルズ・サントリーホールの屋上庭園を特別限定公開
2000年	都市型スピリチュアル系のスパクラブ「アーキヒルズスパ」オープン
2001年	アーキヒルズに国内初「日本原産の植物を集めた庭園」が誕生
2002年	「アーキ森ビル」に賃貸オフィスビルでは国内初の入館セキュリティゲートを設置
2003年	チャイルドケアセンターを開設
2004年	
2005年	アーキ森ビル 大規模リニューアル
2006年	アーキヒルズ「いばらき市」開催
2007年	アーキヒルズが国際的環境賞「ENERGY GLOBE AWARD」を受賞
2008年	都市の緑を育てる市民参加型コミュニティ「ヒルズガーデニングクラブ」が発足
2009年	都心と成田空港をヘリコプターとハイヤーで結ぶ「成田エアラインコネクションサービス」開始 都心の朝市「ヒルズマルシェ」オープン
2010年	アーキ森ビル37階に多目的スペース「the club room」オープン
2011年	アーキヒルズ25周年

■ヒルズの原点

オフィス(アーキ森ビル)、住宅(アーキタワーズ)、コンサートホール(サントリーホール)、ホテル(ANAインターコンチネンタルホテル東京)、オープンスペース(アーキ・カラヤン広場)、庭園(アーキガーデン)など、多彩な都市機能をひとつの街の中に融合させたアーキヒルズ。「職住近接」「文化発信」「都市と自然の共生」など、当社の都市づくりの理念である「ヴァーティカルガーデンシティ(立体的緑園都市)」を具現化したヒルズの原点と言えるプロジェクトです。

■森ビルの様々な“挑戦”を実現

オフィス、住宅、ホテル、コンサートホールなどからなる、民間による日本初の大規模再開発事業。森ビルの街づくりの原点として様々な“挑戦”を実現してきました。

- 東京を代表する国際金融センターの顔に
- 外国人向け賃貸マンションブームの先駆け
- 都市に組み込まれた初めての音楽ホール: サントリーホール



■緑とコミュニティを育み25年

アーキヒルズは約150本の桜並木、7つの庭園「アーキガーデン」、さらに建物屋上・壁面においても、各々の環境に合った植物を選定し緑化を実施するなど、新しい緑化技術の開発・応用に積極的に取り組んでまいりました。また、「ヒルズガーデニングクラブ」による草花の手入れ、ガーデニングクラブ発表会など、緑化環境を活かしたコミュニティ活動や地域貢献にも積極的に取り組んでいます。

緑を育む取り組みが評価され、数々の賞を受賞

- 2002年 ・アーキヒルズが第22回緑の都市賞で「国土交通大臣賞」を受賞
- 2005年 ・第1回SEGES社会・環境貢献緑地評価システムにて最高ランク「STAGE3」を取得
- 2006年 ・SEGES 最高ランク「STAGE3」を取得
・アーキガーデニングクラブが東京都道路功労者建設局長賞受賞
・オーストラリア主催の国際的環境賞「National ENERGY GLOBE AWARD Japan」を受賞
- 2007年 ・道の日「道路功労者 国土交通大臣表彰」
・SEGES 最高ランク「STAGE3」を取得
- 2010年 ・「生物多様性保全につながる企業のみどり100選」認定
- 2011年 ・平成23年度 都市景観大賞「都市空間部門」特別賞

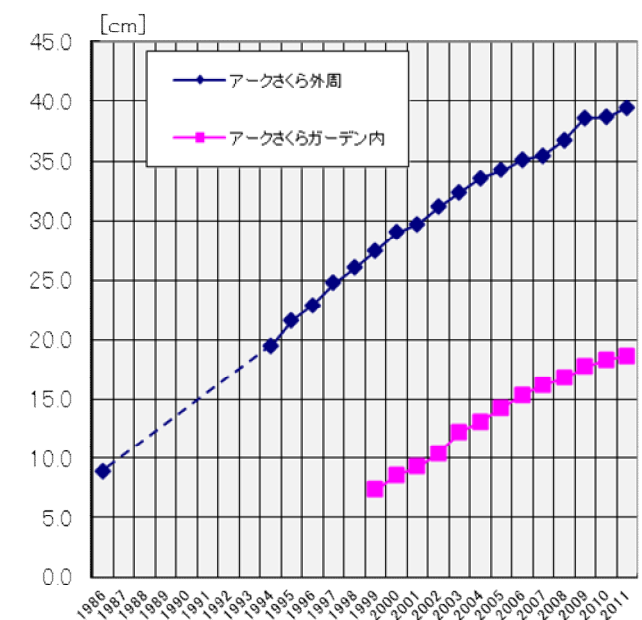


緑被率と桜の定点観測

竣工直後の1990年に23.3%だった緑被率は、2011年には45.61%にまで増加。緑の量だけでなく植種など緑の質にも配慮し、25年近い維持管理の過程でも、植栽計画の見直しや季節の草花を植えることは随時行っています。

また1986年のオープン時、それまであった桜の古木をもう一度甦らせようと、アーキヒルズ内に多くの桜の木を植樹。当時、直径10センチにも満たなかった外周の桜の幹の直径が、都心の環境の中で、25年後(2011年)には40cm近くまで成長しています。

アーキヒルズには、起伏に飛んだ地形沿って、散策できる並木道や通り抜けできる通路も整備。誰でも四季の緑や小鳥・虫の鳴き声を楽しみながら、敷地内を散策することができます。





④ 森ビルグループのアジア事業展開



「六本木ヒルズ」に代表される街づくりの理念やノウハウ、「上海環球金融中心」など海外事業における実績は海外から高い評価を受けており、中国、台湾、韓国など主要都市における事業展開が加速しています。成長著しいアジアにおいて、今後、街をつくるというハードはもちろん、完成した街の運営・マネジメントというソフト面の需要急増が見込まれるなか、森ビルの街づくり理念「Vertical Garden City」をもとに、大規模複合再開発において企画・設計から運営・管理までをトータルで担う街づくりノウハウを活かした事業を積極的に展開し、アジアのさらなる発展に貢献して参ります。

中国のプロジェクト

1996年  森茂大厦 大連	1998年  HSBT 上海	2008年  上海環球金融中心 上海
--	--	---

その他(韓国、台湾)

2011年9月末 I 期完成
陸家嘴ペDESTリアンデッキ (上海)

2012年 (I 期2011年・II 期2012年)

2011年12月着工
環球金融中心公共緑地開発

2014年



台湾

中国信託国際金融広場(台北)  2014年(予定)	龍巖商業高級旅館 新築工事(仮)(台北)  未定
---	--

韓国

2011年8月完成 森ビル都市企画が2006年より5年間に渡り、企画・設計からリーシング、運営・管理計画までをトータルにサポート。同社の海外都市開発コンサルティング事業において初の大規模プロジェクト開業となります。  D-Cube City (ソウル) ★ソウル西南部最高層・最大規模 ★ホテル住居、カルチャー、グルメが共存する複合カルチャー空間	Intercontinental Hotel 増築プロジェクト(ソウル)  未定	駒葛駅前都市開発事業 (ソウル)  2014年(予定)
恩平ニュータウン中心商業地 複合開発事業 (ソウル)  2014年(予定)	釜山砂上先端産業 団地事業 (釜山)  2018年(予定)	

⑤ 『ヒルズ街育プロジェクト』 ～年間参加者1000名突破！～

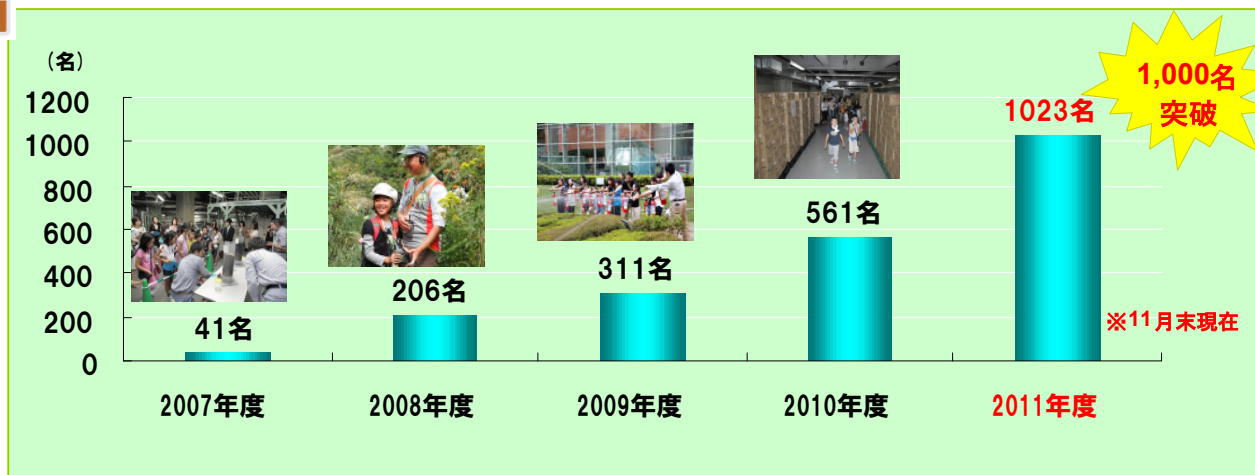


■ヒルズ街育プロジェクトとは

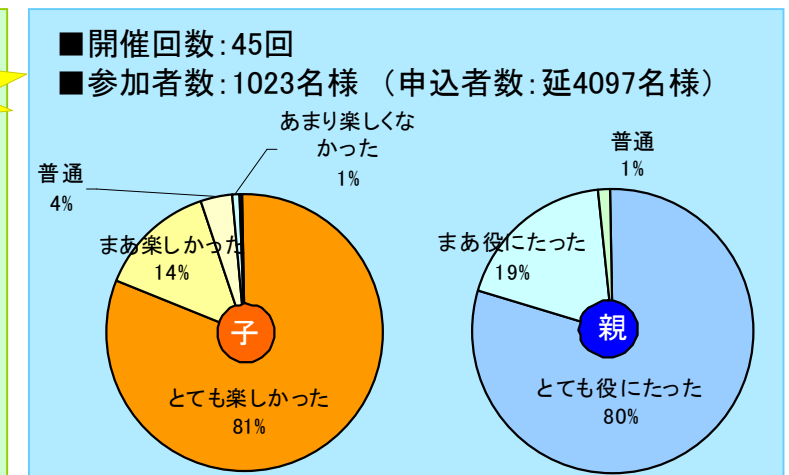


創業から50年にわたり都市づくりを推進してきた当社が蓄積してきた豊富なノウハウや先進設備を社会に還元し、未来を担う子供達や地域住民の方々をはじめ、多くの方々と共に学びながら**快適な都市生活のあり方を考えていく機会**として2007年より実施している**親子向け教育プログラム**です。当社が街づくりのミッションに掲げる**“環境”、“安全”、“文化”**をテーマとするプログラムを展開しています。
今年度はより幅広く皆様にご参加いただけるよう、参加対象者や開催数の拡大を予定しています。

■参加者の推移



■2011年 開催実績および参加者満足度



■ツアー内容

みどりのヒミツ探検ツアー

5月4日(水・祝)・10月8日(土)開催。
小学校1～6年生**46組114名**の親子が参加。

■参加者の声(子供)

- ・緑があるところは、とても涼しかった
- ・いつも食べている野菜や果物の花の形が想像と違ってびっくりした
- ・ビルの上に色々な庭があってびっくりした
- ・安全安心な町ができるといいなと感じた

■参加者の声(大人)

- ・親子で共有できる探検ができてよかった
- ・緑を大切に高層化する事は良いと思います。



六本木ヒルズ省エネオフィスの“ヒミツ”探検ツアー

7月21日(木)・22日(金)開催。小学校4～6年生**14組30名**の親子が参加。

■参加者の声(子供)

- ・温暖化が進むと地球が危ないということがよくわかった。
- ・今後は電気をあまり使わない生活をしたい。
- ・緑のカーテンなど自然の力を使うことが大事と感じた。

■参加者の声(大人)

- ・防災センターやオフィスなど普段いけないところにいけて興味深かった。
- ・自営業なので会社がどのように機能して成り立っているのか子供に見せる良い機会になりました。



六本木ヒルズ安全・安心の“ヒミツ”探検ツアー

7月26日(火)・27日(水)開催。小学校3～6年生**28組68名**の親子が参加。

■参加者の声(子供)

- ・今日の経験を生かし、地震が来たときのことを家族と話したい。
- ・防災システムがしっかりしていたり、防災センターで24時間見守ってくれる六本木ヒルズは安心できるビルだと思った。
- ・地震で怖かったので、応急手当などを教えてもらえてよかった。

■参加者の声(大人)

- ・我が家は浦安で地震被害が大きかったので、災害時のことを子供と学習できてよかった。
- ・高い建物を作るメリット(広い道や広場が出来る)が分かった。
- ・震災後だったこともあり、災害時の自由研究が出来ます。



六本木ヒルズ“ヒミツ”探検ダイジェストツアー

7月～8月にかけて計14日間 29回開催 **572名様**が参加。

森ビルの街づくりにおける3つのミッションを軸に六本木ヒルズを1時間でめぐりながら街づくりを考えるツアー。案内を入社3年目の森ビル社員が実施する社員の研修プログラムとしても活用している。

■参加者の声(子供)

- ・六本木ヒルズで働いている方々は、私たち住民のためにいろいろなことをして下さっているの、とても感謝したいなと思いました。
- ・周りから見て普通のビルだと思っていたけど、実際入ってみると私たちのための工夫がたくさんされていてびっくりしました。

■参加者の声(大人)

- ・実際に企業も具体的に街づくりを考え実践していることが目に見えてわかりました。
- ・周囲の環境を考えつつまち作りを進めている点に好感をもちました
- ・震災後に改めて街の安全性を意識していたので大変勉強になりました。



六本木ヒルズ水の“ヒミツ”探検ツアー

8月2日(火)・3日(水)開催。小学校4～6年生**26組61名**の親子が参加。入居テナント企業の**BASFグループ**にもご協力をいただき開催。

■参加者の声(子供)

- ・水は人にも動物にも大切とわかったので大切に使いたい。
- ・何気なく使っている水も地球上では貴重と分かった。
- ・一番驚いたのはシャワー3分で36Lも使うということ。これからは節水をした。

■参加者の声(大人)

- ・大きな建物を運営するにあたり、多くの努力や新しい試みがあることが分かり「真に中身のある建物」と実感した。
- ・小さなエコもいいが、子供と大きな視野で考えるきっかけになった。



六本木ヒルズ建物の安全の“ヒミツ”探検ツアー

8月26日(金)開催。小学校4～6年生 **30組60名**の親子が参加。大林組に協賛をいただき実施。

■参加者の声(子供)

- ・六本木ヒルズがこんなに地震に強い対策をしているとは思わなかった。
- ・森ビルの理想の町を実現してほしいと思いました。
- ・六本木ヒルズは地震の揺れを抑える装置があってびっくりした。

■参加者の声(大人)

- ・国土の狭いわが国では安全なビル作りは欠かせないと思います。今後とも期待しています。
- ・どんな街づくりがよいか、高学年だと考えることもできると思うのでまた参加したいです。



六本木ヒルズアートの“ヒミツ”探検ツアー

8月4日(木)・5日(金)開催。小学校3～6年生**28組70名**の親子が参加。

■参加者の声(子供)

- ・美術館には面白そうな仕事も大変そうな仕事もあり、それぞれいろんな役割があることが分かった。
- ・自分も美術館で見たようなアートを作りたい。

■参加者の声(大人)

- ・興味深い内容で「街」「人」「文化」について考えるきっかけになった。
- ・子供が美術にあまり興味がないので、これがきっかけになるといいなと思います。
- ・子供の将来の目標にしたいので仕事の詳細が聞けよかった。



みどりと音楽の街「アークヒルズ」探検ツアー

10月23日(日)開催。小学校1～6年生**13組30名**の親子が参加。いつも好評の屋上庭園の見学に加え、アークヒルズ25周年を記念し、サントリーホールと協力をして内部の見学を実施。

■参加者の声(子供)

- ・サントリーホールができるまでにいろいろ工夫していることが分かった
- ・みどりがあって温度が下がったり、屋上に緑をうえることで場所がいろいろ活用できることが分かった。

■参加者の声(大人)

- ・自然と接する貴重な機会になった
- ・サントリーホールの思いが生かされた技術が分かりよかった

